



嘉川地域づくり協議会だより

第3号

平成23年10月1日

発行：嘉川自治連合会
嘉川地域づくり協議会
編集：自治会 社会部 会

〒754-0897 山口市嘉川 4651-1 山口市嘉川地域交流センター TEL：083-989-2018

お一人おひとりの持分で
地域づくりへ
ご貢献の程を！

協議会会長 佐光 邦靖

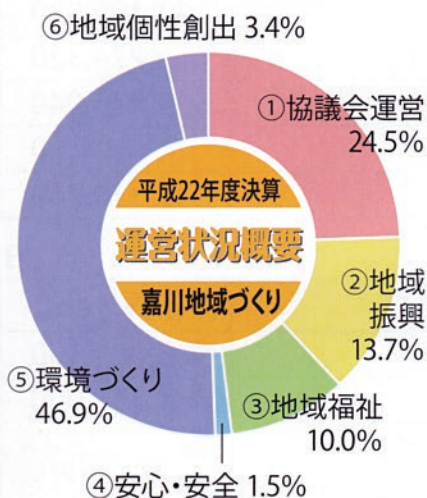
4月から早くも半年が過ぎましたが、皆様には嘉川の地域づくりへご支援を賜り、心からお礼を申し上げます。

さて、昨年からの山口市の「協働のまちづくり」の条例にのっとり、「地域づくりは自分達の手で」と交付金を使って事業を展開してまいりました。

そしてさらに、本年度もその事業を継続していくこととなりました。

つきましては、その事業内容と決算予算について、次頁の表の通りご報告申し上げます。

また、山口市では事業を5つの項目に分類されていますので、その決算概要も左の円グラフに掲載いたします。



各事業につきましては、かねて嘉川地域としてやりたかったこと、やらねばならなかったことに加えて、現在喫緊の防災や土木関係、福祉的なこと、文化や歴史伝統的なこと、さらには子育て支援など多項目にわたりますが、3年から5年にわたる計画をたてて進めていくこととしております。

実施活動については、協議会（自治連合会）が中心となつて、各機関や団体さらには一般の方やボランティアの方を募つて行っておりますが、中身によつては各自自治会をはじめ地域全体の皆様のご支援なくしては不可能なことも多くあります。

どうぞ地域の方お一人おひとりが、ご自分の可能な持分の範囲でご協力いただくようよろしくお願い申し上げます。

交流センター 新築にかかる経過報告

交流センター所長 吉村 信一

交流センター新築工事は、旧庁舎解体工事の遅れにより一カ月遅れのスタートになりましたが、年度内の完成を目指して着々と進行しています。

新しい交流センターは、敷地面積・建坪とも約2倍に広がり、200人収容可能な大会議室、60台の駐車場、エ

レベーターも整備され、より使いやすい施設になります。
完成まで後半、皆様には大変ご不自由をお掛けしますが、今しばらくのご辛抱をお願いいたします。



着々と進行する交流センター新築工事

東日本大震災 募金協力のお礼

本年3月11日に発生した東北3県を中心とした地震・津波被害による大災害並びに東電福島原発の被害に対し、嘉川地域の皆様から絶大なご支援を賜りました。ご協力に対して心からお礼を申し上げます。

受付次第市や日赤等に納入しましたことをご報告いたします。（8月22日現在）

◇自治会からの義援金	1,445,630円
◇個人・団体からの義援金	1,558,656円

嘉川地域交流センター、自治連合会、社会福祉協議会

地域づくり活動事業 平成22年度決算 及び 23年度予算

◆収入の部

単位:円

費目	決算(H22)	備考	予算(H23)
交付金及び助成金	8,787,000	山口市地域づくり交付金	11,106,000
	906,657	地域交流センター活動推進委員会(派遣料)	774,320
	239,040	山口市社会福祉協議会	239,040
	2,500,404	宝くじ、雑収入	0
合計	12,433,101		12,119,360

◆支出の部

単位:円

費目	決算(H22)	備考	予算(H23)
事務費	4,821,564	事務局員給与、事務費、備品	3,061,360
地域振興	1,233,200	地域づくり協議会広報(年2回)	1,410,000
		あいさつ運動(標語募集とステッカー印刷)	
		史跡・遺跡の標柱建て 45箇所	
		中学生の食育料理教室、郷土料理試作	
		禅定寺山登山コースの整備と案内板設置	
		高齢者生きがいセンター10周年記念事業(H22で終了)	
		「白河踊り」ビデオ撮影とDVD化、口説き録音	
地域福祉	895,659	見守りグループ活動研修会実施	560,000
		生き生きサロン及び代表者会議開催	
		子育て支援(川西ちびっ子大集合、川西ネバーランド)	
		高齢者スポーツ活動補助(各スポーツ大会実施等)	
		生涯スポーツ推進(カローリング購入)	
		福祉活動計画見直しと重点計画及び「輪づくり便り」の印刷、配布 ボランティアサークル“きずな”等への支援(腕章等購入)	
安心、安全	133,700	反射鏡設置	1,160,000
		高齢者ドライバー1日ドック(安全教室)	
		児童・生徒登下校時の見守り活動	
		地域防災活動(講演会、新型防災用土嚢の試験的配備)	
環境づくり	4,210,616	土木工事(法定外、公共物整備事業)	4,858,000
		「嘉川清掃の日」実施(ベスト、用具購入、運搬車借上等)	
		花いっぱい運動(花苗、肥料配布)	
地域個性創出	306,740	桜公園の建設推進(八重桜購入)	1,070,000
		子どもと高齢者世代間交流(昔話の聞き取り調査と記録)	
		地域産品創出(オリジナル日本酒「嘉穂の郷」製作)	
		古記録、古行事、古写真の収集(S52嘉川の記録8mmをDVD化)	
紙しばい創出(紙芝居作製、公演)			
合計	11,601,479		12,119,360

平成23年度事業計画

事業は、5年計画で実施されていますので、今年度重点的に取り組む事業を紹介いたします。

「自主防災組織」の 立ち上げについて

自治部会 村田 武巳

本年3月11日14時46分に発生し日本中を震撼させた東日本大震災は、多くの人々にいつどこで、なにが起きるかわからない大きな不安を与え、追い詰められた想いすら抱かせました。しかし、6ヵ月余り過ぎた今、山口は昔から地震が少ないのだから、今後も無いだろうと、何の根拠もなく気を緩めている自分があります。本当に安全なのでしょうか？ 2008年に県が纏めた「地震被害想定調査報告書」では、山口市下郷断層と宇部市東部断層が運動すると、マグニチュード7クラスの地震が起きると指摘しています。山口にも、常に大地震が起きる危険性があるのです。

防災は、「自分が被害を受ける」と考えることから始まります。他人事ではありません。災害が起きたとき、どうしたら被害を防ぎ、あるいは減らすことができるのかを予め考えることが防災であり、組織化することで、より有効に活用できます。7月末の新潟、福島大水害においても、防災組織の活動で、全員が無事避難した自治体が報じられていました。

◆防災講座開催「見守りから防災へ」

日時 11月26日(土)午前9時から
内容 東日本大震災救援ボランティア報告
場所 嘉川地域交流センター
どなたでも参加できます

嘉川地域でも、既に防災組織のある所や、検討中の所もありますが、嘉川の全自治会で、組織化を果たし、本当の安心、安全を目指します。合言葉は「備えあれば憂いなし」。

「花いっぱい運動」

これまで、子ども会が主体となって地域の美化活動の一環として行っておりましたが、今年度は山口国体開催に伴い嘉川の全地域の活動としていくことになりました。婦人会、子ども会育成協議会、青少年健全育成協議会、地域づくり協議会などの団体が共催し、具体的には自治会を中心に協力をお願いすることになり、5月下旬に花の苗を配布いたしました。山口国体に向けてそれぞれ、それぞれの場所で、美しいおもてなしの花をたくさん咲かせていることと思います。



清掃活動で国体をサポート

生活環境部会 田村 展祥

1. 下水道事業について

① 農業集落排水事業

・一期地区は全域で本管への接続が可能となり宅地内の配管工事も3月末現在で76%の方が施工済みです。

・二期地区(一部特環地区は除く)7月には供用開始となり、宅地内の配管工事も順次進行しています。

② 特定環境保全公共下水道事業(予定)

・旧嘉川興業跡地周辺地域

・福岡、市、中市地区の旧道

・上中野(七班)地区と山陽本線上嘉川踏切

横断

・国道190号線沿いとハートホーム前の農

道及び今井地区の一部

今後の実施にあたっては、事前に地域説明会が開かれる予定です。

2. 環境整備と清掃活動推進について

昨年の「嘉川清掃の日」には約3000人の参加をいただきました。各地域の方や推進団体の皆さんに加え、地域の次世代を担う中高生・若者ボランティアサークル「きずな」の諸君の活動は目覚ましいものでした。

今年も「美しいまち嘉川」を全国にアピールしたいと9月25日(日)にたくさんの方のご協力をいただいて清掃活動を実施しました。

地域の安心・安全・発展を目指して

建設振興部会 武田 英一郎

◆今年度実施予定の事業

1、今津川、幸の江川高潮対策事業

台風による高潮の際に海水がJ R宇部線の線路上から進入し、家屋や田畑を浸水する被害を防止する目的で横引きゲートを設置します。

平成23年度は、今津川は左岸ゲート、幸の江川は右岸ゲートが完成し、今年度で高潮対策事業は完了します。

2、地域交流センターの建設を推進する

新築庁舎は23年7月に着工し、24年3月の完成予定です。

建設振興部会としては、計画と工程の変更が生じないようにお願いしています。

3、地区要望事業の建設を推進する

① 山口市道、道路改良事業

平成22年度は2路線が採択されましたが、今年度は北の江東今井線を含めて3路線が採択されました。

今後も採択される箇所を増やしていただくよう要望していきます。

② 法定外公共物等整備事業

平成23年度の市の予算は前年度並みが確保されています。

今年度6月締め段階では、道路関係が5件、農業用水路1件の要望がありました。次回は9月締めですが予算内での対応をいたします。

みんなで支え合う

あたたかい地域づくり

住民どうしの

つながりづくりを求めて

健康福祉部会 久保 寛

1. 各自治会で、福祉活動にかかわる住民どうしの連携を強めてほしい

自治会長、社協総代、民生児童委員、福祉員、子ども会や老人クラブ、PTAの役員、ボランティアの方たちが日ごろから連絡を取り合い、サロンや集いの活動の中心になってほしい。

2. 各自治会での見守り活動の充実をめざす

① 高齢者のひとり暮らし、高齢者だけの家庭への目配り心配りと声かけを。
② 子どもたちの安心・安全への目配りとその活動の継続を。(登下校時等)
③ 緊急時の防災・避難活動についての準備と周知徹底を。

3. 住民どうしや世代間の交流、ふれあい活動の場を充実させたい

① 各自治会でのいきいきサロンや小さな集いの立ち上げと活動の充実を。
② 学校での子ども



と高齢者とのふれあい活動の工夫を。

③ 活動を通して、地域の文化や歴史、よきを子どもたちに伝えていきたい。

4. ボランティア組織の後継者づくり、若い人の加入促進に努める

5. 「共同募金」等、助け合いの運動について一層の理解を得るよう努める

これらの活動の手がかりにするために、次の研修講座の開催を計画する。

- ① 見守り訪問、防災研修講座
- ② いきいきサロン代表者研修会議
- ③ ボランティア活動体験学習講座

地域への広がりを願って

社会部会 西山 京子

「あいさつ運動」では、「あいさつ」についての作文やエッセーを公募し、登下校時に子ども達に温かい声かけをしていらつしやる人達のスナップ写真と共に特集を組み、広報誌で紹介する予定です。また古写真・古記録の収集は、狙いを具体的に分かりやすく説明して「センターだより」で呼びかけました。集まった写真等は随時センターの会議室に展示しますので、一層のご協力をお願いいたします。さらに「花いっぱい運動」「白河踊り保存」「史跡・遺跡めぐり」等は他団体と連携して行います。

特集

「嘉川の史跡・遺跡」

史跡を見て観て
「嘘のような本当の話」

社会部会 田中 博

火砕流をご存じですか。平成3年6月長崎県雲仙普賢岳ふもとで死者不明者43人と多くの家屋を焼失し、地区に大被害を起こした自然現象です。嘉川にもそのような火砕流による地層がハッキリと確認できる場所が発見されました。それは今井（溝端）地区です。

地層発見者の日本地質学会会員で陶連自治会長の松尾征二先生にお聞きしてきました。今から9万年前（旧石器時代始めごろ）九州の阿蘇山が大噴火をしてその火砕流が嘉川まで来たというお話でした。海を渡って流れ

てくるなんていきなりでは信じがたい話ですが、当時の海面は現在より低く瀬戸内海の場所はほとんどが陸地で、谷底には川が豊後水道のようなものがあつたと想像されます。

阿蘇山の火噴火に伴う噴煙柱が超上空で崩れ落ち斜面を流れ下り谷底から這い上がり、110キロの道程を約1時間位で今井地区に到着、さらに地表の動植物を飲み込みながら山口県の萩沖あたりまで舐めつくしたものと思われまます。名前を阿蘇4火砕流と呼びまます。

その火砕流による堆積物の厚さは、大分県日田市辺りでは50メートル、ここ今井地区では約1.5メートルが確認されています。火砕流の温度は約500度以上、速度は時速100〜200キロメートル新幹線並みの速さの場所もあつたと思われまます。発見された地層の中には火山噴出物特有の火山ガラスを含み高

温堆積物中にできるガス抜け構造が確認できます。また他の箇所で見られる阿蘇4特有の鉱物の存在が認められています。そしてなによりも凄いことは保存状態が他箇所では観られないほど良好で、今後の火砕流堆積構造の解明の基礎資料づくりが期待されます。

太古の地球の壮絶な地殻運動の痕跡が私たちのすぐそばで見ることが出来ます。この火砕流の史跡登録は平成22年度事業で実施し、標柱番号35で今井（溝端）地区に表示してあります。ご協力頂いた松尾先生と今井地区の皆さんに感謝いたします。

寄稿

妙智尼の墓へ



河村 文子（上嘉川）

私は、免地にある妙智尼の墓へ機会があれば、お参りしたいと思っていたので、嘉川の遺跡・史跡めぐりに参加した。

妙智尼は、周防国の守護大名であつた

大内氏の重臣・内藤弘矩の娘、内藤興盛の妻、大内義隆の伯母。室町時代末期大内氏の滅亡後、尼となつて父・兄・一族の菩提を弔いながらここ（免地）に住んでいた。彼女の所領となつて諸役を免除されたので免地と呼ばれるようになり現在に続いている。

彼女と在郷の者たちが織りなした人間模様を思いを馳せていると、奥の細道「夏草やつわものどもが夢の跡」の句が浮かぶ。

時代の運命に翻弄された彼女。その墓は素朴で小さかつた。460年の時を刻み、ひっそりと苔むしていた。



↑史跡登録された火砕流の地層（今井地区の現場）



標柱建てに参加した皆さん→

「第二回史跡・遺跡めぐり」開催

日時／11月6日（日）10時〜14時

場所／興進地区

詳細は「センターだより10月号」をご覧ください。沢山の方のご参加をお待ちしています。

中高生・若者ボランティアサークル

『きずな』だより

発足して2年目の『きずな』は、会員数84名でスタートしました。

今年山口国体のボランティアとして8名が参加することになっています。

『きずな』には3つの誓があります。

- ① 地域の人々と協力して、できる仕事から進んで実践します。
- ② 奉仕する喜びや苦勞を分かち合い、互いの絆を深め、自分磨きをします。
- ③ 活動を通して地域をより深く見詰め、住みよい地域づくりの一員になります。

活動の後に会員たちは、3つの誓により近くよう、個別活動ファイルに気付きや反省を書き留めます。

「あいさつ」について
作文やエッセーを
募集!!

「挨拶」や「あいさつ運動」について、あなたの思いや思い出、心に残るエピソードなどをお寄せください。

- ◆ 応募資格…嘉川地区在住の人、川西中学校生、嘉川・興進小学校5~6年生
- ◆ 字数…生徒 200字以内
大人 250字以内
- ◆ 応募方法…作品に、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、学校名(学年)、電話番号を添えて提出してください。
- ◆ 賞…最優秀6点、入賞数点
- ◆ 応募先…嘉川地域交流センター内
嘉川自治連合会事務局
〒754-0897
山口市嘉川 4651-1
TEL: 989-2018
- ◆ 締切日…11月10日(木)
- ◆ 結果発表…入賞者に通知、「協議会だより」に優秀作品を掲載します。

「白河踊り」の
活性化を目指して!

盆踊り委員会

「白河踊り」は、戊辰の役、白虎隊で有名な会津への入り口、白河市での戦いが、3カ月も続き多くの死者が出ました。その年の白河の盆踊りに長州の諸隊も加わって踊ったことから、長州に持ち帰られたと云われています。現在も県下広く踊られています。嘉川では少なくなっています。百四十年以上も続く歴史的に由緒のある「白河踊り」を、嘉川全地域を挙げて残したいと願っています。

活動の度に提出されたファイルは、世話人が必ず目を通し、次の活動につなげていけるよう励まして、自分磨きに役立ててもらいます。今年度は、今後6回の活動がありますので、一人でも多くの会員の参加を期待しています。

まちづくり委員会

委員長 杉山 幾久

まちづくり委員会は41名の委員で23年度の活動をスタートしました。8月に地域内の駅の清掃活動を行い、環境美化の重要性を再認識しました。9月に行われた嘉川地区清掃活動についても積極的に参加しました。また、昨年度に引き続き嘉川地区特産品づくりとして、嘉川の酒「嘉穂の郷」の普及に力を入れています。一年目のお酒は、沢山の方々の協力のもと70パーセントを超える量を消費していただきました。今年も6月に田植えを行い、酒米も順調に生育しており、10月上旬には稲刈りを予定しています。地域の方々に末永く愛される商品に育てていけるよう努力して参ります。今後とも当委員会の活動にご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

編集後記

秋たけなわ、協議会の事業も2年目に入り、ホップからステップの段階へと移ってきました。各部会が今年度重点的に取り組んでいる活動をピックアップして紹介しました。また事業に関心を持っていただけるよう、特集や寄稿文・参加募集等を載せ多様な内容を心掛けました。お気付き、ご意見等をお寄せください。